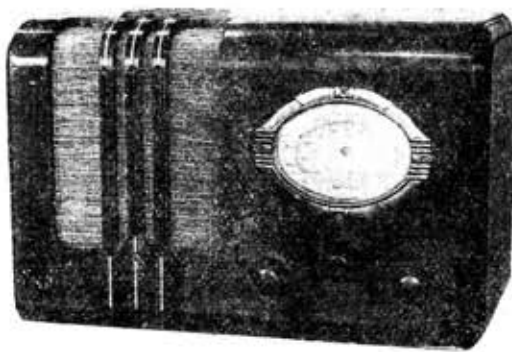


ナナオラ 140 型受信機の解説

株式会社七歐無線電氣商會

緒 言

ラジオ受信機の戦時體制下に於ける役割は茲に改めて申し述べるまでもありませんが、材料資源愛護のためなるべく材料を節減し然も使用致しましたものは極度に活用して、電氣的性能及機械的構造は完璧な受信機を製作し、よつてもつて國策遂行に協力することこ



向つて右のツマミ、再生調節器、中、放送局選擇器
左、音量調節器兼電源閉器

第 1 圖 外 観

そ吾々ラジオメーカーの務めでありませう。此の方針の下に生まれました受信機ナナオラ 140 型を御紹介致します。

規 格

1. 受信周波数帯 550~1,500 kc
2. 電源 90~100 V(50~60 ω)
3. 消費電流 0.35 A
4. 感度階級 微電界級
5. 真空管 UZ-58 高周波増幅
UZ-57 再生式グリッド検波
UY-47 B 終段増幅
KX-12 F 半波整流
6. 高聲器 ダイナミックスピーカー
界磁線輪抵抗 2,500 Ω
外 徑 165 耗
コーン直徑 142 耗

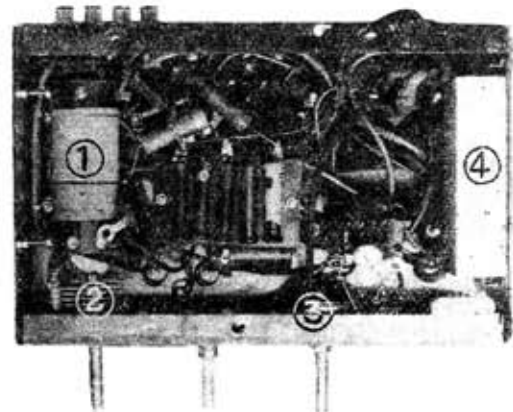
機 構 の 概 要

1. 高周波増幅 UZ-58 により高周波増幅を行つて居ります。空中線端子は3箇設けまして、感度、分

動作中の各部電壓

真空管	フィラメント電圧 (V)	プレート電圧 (V)		SG 電圧 (V)		CG 電圧 (V)	
		1	2	1	2	1	2
58	2.44	178	172	71	80	-3	-28
57	2.44	71	62	30	26		
47 B	2.44	156	171	164	178	-16	-20
12 F	4.8	315 AC					

第 1 表 (1) 音量規制最大, (2) 音量規制最大



1. 検波コイル 2. 再生コンデンサー
3. 音量調節器 4. 電解コンデンサー

第 2 圖 シャーシー

離、中間と自由に變へられ、その搬送周波特性は入力比で大體三分の一づつになつて居ります。また音量調整は UZ-58 のカソードにて行ひましたので、電界の強い場所で使用致しましても歪を生ずる様なことはありません。御参考までに動作中の各部電壓を第 1 表に掲げました。尚振幅特性は第 4 圖の如くであります。

2. 検波 UZ-57 にて再生式グリッド検波を行ひました。高周波コイル、検波コイル、共に遮蔽を用ひずシャーシーの上下に配置致しましたので、寫眞の様に小型に出来ました。

選擇度特性も全々そこなはず優れた性能を得ました。

3. 終段増幅 UY-47 B にて終段増幅を行ひました。大容量のバイパスコンデンサーを用ひまして忠實な原音再生につとめると共に、ダイナミックスピーカーを併用致しまして、音質の良い本當の意味の國策受信機として製作致しました。

